

高志台

NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学園だより

Vol.171

2011. 6. 29発行



CONTENTS

02	新校長挨拶	11	クローズアップ専攻科
03-05	高専に入学して	12	専攻科だより
06-07	留学生からコンニチハ	14	安全・安心 学校環境・教育体制について
08-09	遠足・部活動紹介	15	新任教職員紹介
10	寮行事紹介	16	トピックス

★高志台（こうしだい）

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、
"こしのくに"（越の国・古志の国・高志の国）
と呼ばれていました。学生に高い志を
持って欲しいとの願いと歴史上の地名
とを関連させて、学校のある台地を
「高志台（こうしだい）」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

校長に就任して思うこと

校長 渡邊 和忠



思いもかけず、この4月から高田前校長の後を引き継ぐことになり、その責任の重さを実感しています。何卒、よろしくお願いします。

私は、岡山県倉敷市で生まれ、大阪近辺で育ち、大学以降、東京での生活が長かったのですが、その間、カナ

ダに2年間留学し、また、九州工業大学(福岡県)に2年間勤務したことがあります。

大学生の頃、偶然、本屋で手にした本から分子生物学に魅せられ、生物の分野で研究することを志しました。分子生物学の技術を学び、その技術を用いて20年ほど前から脳の発達の基礎的研究に従事してきました。人を含む高等生物は全て、生まれた後で外界から光や音など様々な刺激に必要な時に必要なだけ受けることによって脳が正常に発達し、完成することが動物実験等で明らかにされています。人に当てはめれば、子供の脳の発達過程で、適切な時期に適切な刺激を与えることが、その子の能力、性格に大きな影響を与えると考えられます。教育の観点からも、大人になるまで、即ち脳の発達が終えるまでの教育が極めて重要な意味を持つことになります。

10年前に長岡技術科学大学(長岡技大)に職を得て、多くの高専卒業生と共に学び、研究する機会を得ました。高専卒業生は、特に素直で協調性に富み、身体を動かすことを厭わず粘り強く物事に取組むことを常日頃、感じていました。また、高専出身者は高専が大好きなことにも驚かされ、どうして高専卒業生は高専のことがこんなに好きなのだろうかと、高専の教育に関心を持つようになりました。高専の校長に就任後、本校の先生方からお話をお聞きするうち、先生方が常に学生と向き合い、学業だけでなく人間形成としての教育をしておられることを改めて強く認識しました。時には高校の先生、又、時には大学の先生のような立場で、一人何役もこなし、しかも5年間、或は7年間の学生の在学期間中に一貫して生活面を含むきめ細かな対応をしておられることには本当に頭が下がる思いです。

恐らく子供から大人になる感受性の高い時期の5年間、7年間、即ち脳の発達の最終段階における人間形成教育が、それぞれの学生の人生において重要な意味を持っており、高専卒業生特有の優れた性格・態度を身につけているのだろーと思っています。

もう一つ、高専に来てから、驚くとともに嬉しい気持ちになったことがあります。企業等への着任の挨拶回りや地元の会合などの様々な場面で、「自分は長岡高専出身です」、「私の会社でも高専出身の人たちが頑張っていますよ」と云う言葉を耳にします。まだ、長岡高専に着任して3ヶ月程しか経たないのに、本校が地域に愛され、社会から高く評価されていることを強く感じています。本校の素晴らしさ、人材育成の成果、先生方の努力を世の中の皆さんにもっともっと知ってもらいたいと云う気持ちでいっぱいです。

一方、高専と云うと男子のイメージが強く、女性教員、女子学生が少ないことを残念に思っています。恐らく世の中一般に工学は男子の分野と思われることにも原因があるのでしょう。しかし、本当に工学は男子の分野でしょうか。これからの技術者には優れた感性、コミュニケーション能力が強く求められます。女性は男性とは異なる感性を持っています。男性が気づかないような視点から物事を見ることができます。世の中の半分は女性です。男性がつくり出すものは、物事の半面からしか見ていない「ものづくり」と云うことになります。また、一般的に男子より女子の方が優れたコミュニケーション能力を有しています。今後、良い「ものづくり」をするためには、「工学女子」の力が絶対に必要です。世の中が「工学女子」の素晴らしい能力を認識し、多くの「工学女子」を養成し、社会での活躍の場を広げていかない限り、今後、日本の「ものづくり」は世界に遅れをとることは必至であると恐れています。私の専門である神経科学の分野では、欧米においては多くの女性研究者が活躍し、著名な女性神経科学者が数多くいます。決して科学や技術が男子の分野ではないことがよくわかります。このようなことから、長岡高専に「工学女子」を増やすことができれば嬉しいと思っています。高専教育を更に充実させ時代のニーズにあった優秀な技術者を輩出する努力を怠らず、また、高専の素晴らしさを世の中に発信したいと考えていますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。

高専に入学して



高専に入学して

機械工学科1年 岩瀬 将也

僕はロボコンを見て自分もこれをやってみたいと思い高専に入学しました。なので、部活は決めました。ですが高専に入学すること

になって、いろいろな不安もありました。勉強についていけるか、新しいクラス、部活になじめるか、僕以外、自分の中学から機械科に入る人はいなかったの余計不安でした。しかし、こんな不安もありましたが、今、高専に入学してよかったと思っています。勉強はとにかく、新しいクラスの人たちはとても个性的で、毎日がとても楽しいです。部活の雰囲気もとてもよく、1年生の自分でもアイデア会議などでたくさん発言できました。今年の機械科にはなんと女子がいて、とても驚いています。これからは苦手な英語の勉強をがんばりたいと思います。

とにかく、高専はとてもおもしろい人が多く、絶対に楽しい学校生活を送れる場だと思います。



高専に入学して

電子制御工学科1年 樋渡 功太

高専に入学してみたら、周りはみな知らない人ばかりだったので最初の数日はとても不安でした。でも、面白いクラスメイトや優しい

先輩が何人もいて、すぐに高専になじむことができました。入学してからまだ3か月ですが、中学とは違っても興味深い体験をしました。先生からの連絡事項がメールで携帯電話に届くしくみは新鮮でしたし、活気にあふれたいくつもの部活による部活紹介はとても面白かったです。勉強面では、数理演習が今までの数学とは違い難しくて一番やりがいがあります。高専にはまだ良く分からないことや大変なこともたくさんあると思いますが、それより多くの楽しいことや面白いことがあると期待しています。それらを、愉快的仲間たちと体験していきたいと思っています。何回か失敗や迷惑をかけてしまうかもしれませんが、電子制御1年の皆さん、先輩方、そしてお世話になる先生方よろしく。



高専に入学して

電気電子システム工学科1年 保坂 拓哉

高専に入学しての目標は心技体である。まず、心技体の「心」は、私が長岡高専で「心」を成長させたいからである。私が通っていた

中学校からは、自分1人しか長岡高専に来ていない。中学校の友人と別れなければいけないので心配もある。そこで、多くの人と交流を深め友人を作り「心」を成長させたい。

「技」は、高専に来て専門技術を身に着けたいからである。私はこれから、多くの専門技術を学ぶことになる。将来自分がつく職業で、高専で学んだ技術がしっかりと生かせるように、日々の学習・実習に取り組んでいきたい。

「体」は、学校生活でもっと自分の「体」を成長させたいからである。生活にリズムとメリハリをつけ、体力的にもタフになりたいと思う。また先にも書いたように、私は同じ1学年の間に知っている人はいなかった。そして、これまで生活してきた場を離れることにも不安があった。でも、これを乗り越えることで自分の「心」も「体」ももう一まわり成長できると思うので、これからの学校生活をがんばって過ごしていきたいと思う。



高専に入学して

物質工学科1年 笹川 祥平

みなさんこんにちは。この春から物質工学科の1年生として長岡高専に通っている笹川です。私は、この長岡高専に上越市から通ってい

ます。通学には1時間以上かかってしましますが、それでもなぜ、そこまでしてこの学校に来るのか。それは、この長岡工業高等専門学校にはそれだけの魅力というものがあるからだと思います。高専独特の特別な学習のプログラム、そして専門的な授業内容。どれもほかの高校にはなく、この高専に入らなければ学習できない内容が多いと思います。

物質工学科に入ったからには、長岡高専の教育理念にあるように「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者」になることができるように、これからの高専生活5年間のなかでより多くの専門的内容を身につけ、日々の努力をしっかりと行っていきたいと思っています。

また、これからの高専生活を一緒に過ごしていく物質工学科、そしてほかの学科の1年生のみなさん。5年間よろしく願います。



高専に入学して

環境都市工学科1年 佐藤 信輔

長岡高専に入学して、自分はとても不安でした。1つは「クラスの人との関係」です。自分のいた中学校は小学校の仲間が全員同じ学校へ進学したので、高専に入学したときは初めて会う人たちを見て、少しの戸惑いを覚えました。しかし、クラスの人たちが話しかけてくれ、その人たちの中に溶け込むことができて、不安だった始めの頃が嘘のようになりました。今ではクラスの人たちと過ごす毎日がとても楽しいです。

2つ目は「勉強」です。高専は授業が難しいと聞いていたのですが、いざ授業を受けてみると予想以上に難しく、毎回の授業を受けるだけでは分からないこともあるので苦手やできないところを増やさないように、きちんと勉強していきたいです。

大変なことも多いと思いますが、これから5年間全力で頑張っていきたいと思います。



高専に入学して

機械工学科4年 安達 大輔

加茂高等学校から長岡高専に編入してから早3か月が経ちました。編入当初、私は普通科からの編入という事で、授業についていけるのか、クラスに馴染めるのかと不安の毎日でしたが、私のクラスの雰囲気は明るく、とても居心地の良い空間で、すぐに馴染むことができました。

しかし、勉強ではいまだに苦労しています。ここでの勉強は、高校では学習していない分野が多々あり、基本的な部分から分からないことが多くあります。なので、分からないまま終わらせないように友人に聞いたり、先生に説明してもらうなどして、理解できるように努力しています。また、初めはほぼ毎週出されるレポートの書き方が分かりませんでした。普通科の授業ではほとんどレポートを書く機会がなかったため、最初は四苦八苦していましたが、友人のアドバイスを貰いつつ何とかまとめられるようになりました。

まだまだ分からない事だらけの高専ですが、周りに後れを取らないように勉強に励み、この2年間で吸収できることをすべて吸収して行きたいです。



高専に入学して

物質工学科4年 矢尾板 冴恵

最初に高専に編入して驚いたことの中からいくつかあげたいと思います。①クラスの人数が多く、教室も広いこと。中々顔と名前が一致しません。②遠足は全校で同じ場所へ行くこと。大名行列みたいだなと思いました。③お昼の寮食堂の混み方。油そばがメニューに出るときは更に凄じ列でした。こうした驚きや発見にもみくちゃんにされながら、4月から高専生活が始まりました。

最初は前も後もわからず不安でいっぱいな上、課題に迫られる毎日が続いていました。授業は初めて習う事や今までの勉強の発展したものが多く、まず問題文に出てくる用語すらわからない！ということも度々あります。そして課題は消化しても次から次へと続き・・・悪循環に陥っていました。しかしクラスメイトを始め、寮生の方や先生方が優しくしてくださったため高専生活には馴染めてきたと思います。これからは勉強を主体にし、将来を見据えた学校生活を送ることができるように努力していきたいと考えています。





高専専攻科に入学して

電気電子システム工学科1年 駒形 隼仁

専攻科に入学して、すでに3か月が過ぎました。今までと同じ学校に通うものの、授業時間が長くなったことや、毎回出される課題が多くなった点などが本科の時と比べて大きく変わりました。最初は少し大変でしたが、ようやく慣れてきたというところです。

また、専攻科ではホームルームが無く、皆が集まることも少ないため、情報の収集や整理が大変です。そこで、この春からスケジュール帳を購入して使っています。これには自己管理を徹底して行い、社会に通用する人材になるという目的もあります。

今までは自己管理がうまくできておらず、人としての成長はいまひとつだったように感じます。その反省をふまえ、専攻科ではしっかりと自己管理を行い、研究や日々の授業で幅広い知識を身につけていきたいです。

今年はインターンシップもあり、年が明ける前には就職活動も始まります。気を抜くとあっという間に2年間が過ぎてしまいます。そのため、この短い期間を最大限有効に使い、成長していきたいと思います。



3Dの実験風景(このポーズは実験に関係ありません)



高専専攻科に入学して

物質工学専攻1年 久住 拓司

専攻科に入学し、新たな生活が始まって、早くも3か月が過ぎようとしています。ようやく今の生活にも慣れてきたところです。

専攻科は本科に比べ授業時間が少なく、まとまった時間が多く取れます。この時間を研究に勤しむのはもちろんのことですが、課題・勉強に充てるのも人それぞれだと思います。もちろん趣味に時間を費やすことも、とても大事なことだと思います。いずれにせよ、自分の人生への投資として、有意義な専攻科生活を送らなければいけないと思います。

また、他大学へ編入していった仲間たちが授業や課題に必死で取り組んでいる中、多くの時間を研究に充てることができるのも専攻科の魅力だと思います。他

大学編入では学部3年では研究室への配属はありませんが、専攻科の場合、1年生のうちから研究に取り組むことが可能なので、研究に力を入れたいと思っている人は専攻科への進学を考えてみてはいかがでしょうか。

最後に、編入試験等がついにこの前のように感じています。もう間もなく次の進路も考えなくてははいけません。希望通りの進路へ進めるよう日々頑張りたいと思います。



カフェイン分子モデルとの記念撮影



高専専攻科に入学して

環境都市工学専攻1年 安藤 恭平

専攻科に入学し、あっという間に3か月が経ちました。専攻科では、全ての講義が学習単位であり1コマが105分と大変長いです。またほとんどの授業で毎週課題がだされます。そのため授業自体は大変ですが、コマ数は少なく自由に使える時間が増えました。そこで私は、専攻科入学を機に新たな事に挑戦しようと試みました。

ひとつは、TOEICです。私は英語力が乏しく英語の学習が必要であること、また就活にも役立つことがあるので個人的に受験をするなどして取り組んでいます。しかし、課題などを言い訳にし、最近あまり勉強ができていません。

次に、新たな趣味として読書をしようと考えました。こちらはTOEICとは違い、順調に読めていて、現在は5冊目を読んでいます。なにかお薦めの本があったら教えてください。

これからは、課題を効率よく終わらせ、なおかつ研究も同時に行い、その空き時間を有効活用し、趣味、自分に投資するための学習を行い充実した毎日を過ごしていきたいです。



平成22年度卒業式記念撮影

留学生からこんにちは



機械工学科4年
シャリル
(マレーシア)



初めまして、私はマレーシアから来ました、モハマド シャリル ビン ラムリと申します。簡単にシャリルと呼ばれています。皆ノマドという言葉が知っていますか。ノマドは引越しという意味を持っています。私の暮らしはいつも引越しています。日本に来る前に、私は2年間マレーシアで日本の準備をしないといけませんでした。

最初に私はUTMというマレーシア大学で1年間ぐらい勉強していました。2年生の時INTECへ移動しないといけません。INTECはマレーシアの中に有名な大学です。そこでも1年間準備をしていました。やっと私は日本へ行けるようになりましたが、残念ですが、3人が失敗しました。悲しいですが、日本で頑張りたいとおもっています。それから日本に来て福島工業高等専門学校に入学しました。

福島高専1年間いろいろないいメモリといい友達ができました。残念ですが、もう一度転校しないといけなくなりました。だから今長岡高専に来ました。2年間頑張りたいとおもいます。しかし来年はまたノマドしますか。次エピソードを楽しみにしています。



機械工学科3年
シャルル
(マレーシア)



はじめまして。

私はマレーシアからのシャルルと申します。どうして日本に来るかな。。それはマレーシアで18才の時行われた試験の結果によって、日本と韓国にだけ留学することができることになりました。家族と相談した結果、日本に留学することを決めました。というのは、日本の技術は韓国よりレベルが高いからです。日本に来る前に、マレーシアの高専予備教育学校で2年間勉強しました。日本に来てからまだ3ヶ月ぐらいなので、日本の習慣とか文化などについて知らないところがまだたくさんあるから、皆さんから色々なことを教えていただきたいのです。

実は、はじめて長岡高専に来た時、本当に寂しかったです。ところが、先生方と友達のおかげで、ここでの生活がだんだん慣れてきました。日本人の友達と色々なことを話したから、たくさんことが分かってきました。長岡は住みやすく、とてもいいところだと思います。

しかし、本当に心配なことがあります。それは勉強の方です。私は得意な科目がないから、更に全部の科目が日本語で勉強して、本当に心配です。でも、先生方の教え方が分かりやすく、チューターをはじめ、皆に助けられたから、少しずつできるようになってきました。今、これからも、諦めずに頑張りたいと思います。これから、3年間よろしくお願いいたします。



機械工学科3年
ゲン トウン ロン
(ベトナム)



はじめまして。

私はロンと申します。ベトナムから参りました。日本に来てから、もうすぐ2年間3カ月ぐらい経ちました。長岡高専に来る前に、2年間ぐらい東京に住んでいました。東京の生活に少し慣れたので、長岡高専に着いたばかりの時、寂しいと感じました。長岡の生活が東京の生活と違っただけでなく、友達が一人もないからでした。でも、先生方、チューターが助けてくれたおかげで、生活がだんだん楽しくなりました。私の心から本当にありがとうございました。今のクラスの友達と一緒に楽しく勉強できながら遊んでいるので、長岡高専に入って、本当に良かったと思っています。

これから、日本の高い科学技術を学んで、国に貢献したいし、いろいろな国の友達と交流したい夢を実現するために、長岡高専で勉強する時間に一生懸命勉強するように頑張りたいだけでなく、たくさんの友達を作りたいと思っています。それで、皆さん、よろしくお願いします。



電気電子システム工学科3年
ラーソントヌートンパサート
(ラオス)



サバイディ(sabaidi)-(こんにちは)

初めまして、私はラオスから来た留学生のラーソントヌートンパサートと申します。現在、電気電子システム工学科で勉強しています。

去年の4月2日に到着し、1年間東京で日本語の勉強をしました。東京では外国人のための寮で生活していました。毎日他の留学生と一緒に学校に通ったり、遊んだりするのがとても面白かったです。他の国の文化や習慣とあまりかわらず、困ることは思ったより少なかったです。そして、私は栃木の小山でホームステイ参加にして、その時に日本の習慣と日本人の生活がよく分かりました。ホームステイ先のお父さんとお母さんは本当の家族のように接してくれました。そして、友達と離れて長岡工業高等専門学校で勉強することが決まりました。高専に来たとき、ちょっと寒くて雪も降っていました。はじめは、様々な困難に直面していました。授業が始まってからは日本語がうまく話せなくて、同級生や先生方の言っている事は全く分かりませんでした。しかし、先生や先輩やチューターなどはとても優しく、熱心に教えてくれたり手伝ってくれたりしたので少しずつできるようになってきたし、高専の生活もだんだん慣れてきました。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

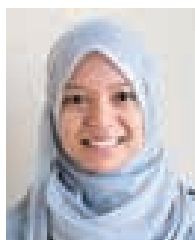


物質工学科3年
マーサ ダラビ
(イラン)



皆さんこんにちは。私はマーサと申します。出身国はイランです。去年の4月日本へ来ました。東京の日本語学校センターで、1年間日本語を学びました。去年はたくさん遊んで、とても楽しかったです。今年は勉強することがいっぱいあるので忙しいと思いますが、頑張ろうと思います。去年の友達と別れてしまったのはしょうがないですが、また機会があれば会いたいです。

日本では勉強することだけではなく、いろいろなことに挑戦したいです。例えばホームステイに参加して日本の文化と日本人の心を学びたいです。しかし、勉強面は少し心配です。漢字は私にとって、とても難しいです。長岡は寒いと聞きました。私は風邪をひきやすいので、長岡の寒さに耐えられるか少し心配です。東京の友達だけではなく、長岡の友達もたくさんできればいいなと思っています。これから3年間、よろしくお願いします。



物質工学科3年
アズイン
(マレーシア)



みんな、こんにちは！アズインです。美しいマレーシアから来ました。日本という国は私にとって、とても素晴らしい国です。なので、日本に来て世界一幸せな気分です。マレーシアの家族と友人、親友と別れたのはとても悲しかったです。日本に来る前はマレーシアの人と別れるのが不安で、辛いと感じました。しかし、日本に来たばかりですが、そんなことはありません。なぜかという、日本にいるみなさんが快く私を受け入れてくれたからです。私は友達を作ることが好きなので、ここにいるたくさんの人たちと友達になりたいです。

日本人は身長が低いと思っていたのですが、クラスの中で1番身長が低いのは私でした。とてもガッカリしました。一部の友達は、私のこと「ちびっ子」と言います。こう呼ばれるのは仲良しの証拠だと思うので、本当は嬉しいです。

長岡高専に来てから3ヶ月たちます。初めて日本人の友達と花見と遠足に行き、楽しかったです。

もっともっと友達を増やしたいです。心をひとつに力を合わせて頑張しましょう。よろしくお願いします。



環境都市工学科3年
ビン ウェイ
(マレーシア)



こんにちは。ビンウェイと申します。日本に来る前は、マレーシアで2年間日本語を勉強したといっても、まだ上手に日本語をしゃべることができないので、少し不安な気持ちがありました。でも、先生方、先輩、友達の皆が熱心に色々と助けてくれるので、本当にありがたいです。日本に来てから、あっという間に3ヶ月が経ちましたが、日本人の日常的な習慣や文化などまだまだ分からないことがたくさんあります。長岡高専では、勉強だけでなく、色々なことを体験したいです。機会があったら、ホームステイに参加して、日本の文化や習慣を学び、自分自身に取り入れたいと考えています。

この3ヶ月の間、日本の生活を本当に楽しんでいきます。特に花見や遠足はとても楽しかったです。来年もまた参加したいです。

日本人の皆さん、私は面白い留学生ですよ。是非、私と友達になって下さい。一緒に楽しい学生生活を過ごしましょう！これからも、よろしくお願いいたします！



環境都市工学科3年
カーイー
(マレーシア)



こんにちは。カーイーと申します。マレーシアから参りました。2年間マレーシアの高専予備教育学校で日本語を勉強して、日本に留学できるのが本当によかったと思います。

初めて外国にひとりで暮らしている私は、ここに来たばかりのとき、家族のことを思い出して、ホームシックになってしまいました。しかし、先生、先輩、チューターと皆さんから色々助けてもらい、寂びしさもだんだんなくなってきました。それに、クラスメートたちも面白くて、毎日学校を楽しみにしています。

ここに来てからもう3ヶ月くらいで、少しずつ日本の生活に慣れてきました。寮生たちと日々を過ごしたり、クラスメートと勉強したり、または最近の遠足など、本当に楽しんでいます。これからも色々な日本の文化をみんなと一緒に体験したいと思います。

どうぞよろしくお願いします！

遠足・部活動紹介

文化委員長として

文化委員長 物質工学科3年 味方 陵



遠足。それは長岡高専の定番行事です。僕も1年生のときに実際に遠足に行き、とても楽しい行事だったことを記憶しています。今年はその遠足を自分が中心となって企画運営をするということで、少なからずプレッシャーを感じていました。遠足の前日は雨でしたが、

昨年遠足を経験してない2年生と新入生に遠足の楽しさを味わってもらいたかったので、遠足を決行することに決めました。僕の思いが通じたのか当日は気温も高く快晴。遠足中に僕が見たのは数え切れないほどの学生の笑顔でした。また新企画の逃走中にも予想を遥かに超える人数の学生が参加してくれました。様々なミスやトラブルがありましたが、ちゃんと遠足として成立したと僕は思います。1年生と2年生にも遠足の素晴らしさは伝わったはずです。この遠足は僕1人の力で成り立ったわけではありません。文化副委員長をはじめとする学生会役員の方々、教職員の方々…。皆様のおかげで良い行事にすることができました。この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

充実の遠足

文化副委員長 物質工学科3年 粉川 航太郎

5月12日に遠足がありましたが、無事に終わる事が出来てとても嬉しいです。

私たち文化委員は、かなり前の期間から12日の遠足に向けて準備作業をしてきました。昨年は、天気があいにく雨だったため遠足が行われませんでした。その分、今年の遠足を楽しみにしている在校生が多いと言



うことを聞き、「楽しい遠足をしよう。」と委員長を中心として、会議を何回も繰り返して綿密に当日が成功するように準備してきました。

ほとんど毎日、夜遅くまで学校で作業して残った分は家で作業し、当日まで忙しい日々でした。さらに前日には雨が降っていて、遠足を開催できるかヒヤヒヤしていましたが、当日は本当に快晴で気持ちよく東山まで歩くことが出来たのではないかと思います。

長い準備期間や前日の悪天候の不安要素などがたくさんあったので、遠足が成功した時の達成感を味わえてとても良かったです。

今年の遠足

文化副委員長 電子制御工学科2年 阿部 凌磨

数日前までは“雨”となっていた天気予報が、前日には“晴れのち雨”に変わり、今年の遠足は実施されました。昨年は、雨で延期。予備日も雨で遠足は中止となり、今年、僕にとっては初めての遠足となりました。それも、学生会役員、文化委員という運営側での参加です。新学期が始まり、すぐに準備に取り掛かりました。主な準備は委員長の味方さんがほとんどやってくださり、僕はただサポートをするだけの形となってしまいました。

遠足を決行するか中止とするかが決まる遠足前日。学生主事、学生主事補、文化委員長の会議で出た結論は“決行”でした。天気予報は晴れのち雨、しかもこの会議の日は雨が降っていて、正直微妙なところでした。

当日は・・・前日の雨が嘘だったかのようないい天気でした。遠足中、いくつかのアクシデントが発生しましたが、どうにか乗り越え、遠足は無事終了しました。遠足は成功したと僕は思います。

文化委員長の味方さん、文化副委員長の粉川さん、学生課のみなさん、学生会役員のみなさん、文化委員のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。来年は僕が委員長となり、遠足を仕切ることになります。今年の反省点を生かして、来年もいい遠足にしたいです。



平成23年度 関東信越地区高等専門学校体育大会

1. 主 催 関東信越地区高等専門学校体育協会
2. 後 援 文部科学省
3. 当番校 東京都立産業技術高等専門学校（荒川キャンパス）
4. 参加校 茨城工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校
 小山工業高等専門学校 長野工業高等専門学校
 群馬工業高等専門学校 東京都立産業技術高等専門学校（品川キャンパス）
 東京工業高等専門学校 サレジオ工業高等専門学校
 木更津工業高等専門学校 東京都立産業技術高等専門学校（荒川キャンパス）

5. 競技種目・開催校・開催期日及び競技会場

種 目	開 催 校	開 催 期 日	競 技 会 場
陸 上 競 技	東京都立産業技術高等専門学校 （荒川キャンパス）	7月16日（土） 7月17日（日）	夢の島競技場
水 泳	小山工業高等専門学校	7月10日（日）	栃木県立県南体育館 栃木県立温水プール館
野 球	長野工業高等専門学校	7月 2日（土） 7月 3日（日） 7月 4日（月）【予備日】	A会場 長野オリンピックスタジアム （南長野運動公園野球場） B会場 中野市営野球場
バレーボール	群馬工業高等専門学校	7月 9日（土） 7月10日（日）	群馬県前橋市民体育館
バスケットボール	木更津工業高等専門学校	7月 9日（土） 7月10日（日）	木更津市民体育館
サ ッ カ ー	茨城工業高等専門学校	7月 2日（土） 7月 3日（日）	ひたちなか市総合運動公園 陸上競技場・スポーツ広場
ラ グ ビ ー	東京都立産業技術高等専門学校 （品川キャンパス）	11月12日（土）	駒沢オリンピック公園総合運動場 補助競技場
ハンドボール	東京工業高等専門学校	7月10日（日）	法政大学多摩キャンパス 総合体育館（14号棟）
テ ニ ス	群馬工業高等専門学校	7月16日（土） 7月17日（日）	群馬県総合スポーツセンター テニスコート
ソフトテニス	長岡工業高等専門学校	7月 2日（土） 7月 3日（日）	長岡市営希望が丘テニス場
卓 球	東京工業高等専門学校	7月17日（日） 7月18日（月・祝）	八王子市民体育館
バドミントン	茨城工業高等専門学校	7月 2日（土） 7月 3日（日）	ひたちなか市総合運動公園総合体育館
柔 道	サレジオ工業高等専門学校	7月 3日（日）	町田市立総合体育館
剣 道	東京都立産業技術高等専門学校 （品川キャンパス）	7月 3日（日）	BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ

（注）サッカーは、関東・北信越地区大会に分かれて全国高専大会の予選に参加する。

サ ッ カ ー	長岡工業高等専門学校	7月 9日（土） 7月10日（日）	長岡技術科学大学 陸上競技場
---------	------------	----------------------	----------------

※東日本大震災の影響で開催期日、競技会場などが変更になる場合があります。

寮行事紹介

寮生総会および対面式を開催

4月25日に高志寮・清花寮の寮生総会が行われました。寮生総会には全寮生が参加し、議長の進行のもと会計報告や寮友会役員の選出などが行われました。また、これに引き続き毎年恒例の対面式が行われました。対面式は、新しく選出された寮長や副寮長、今年度入学した編入生、留学生、新一年生などが在寮生の前で元気よく挨拶する名物イベントです。一発芸や先生方の参加もあり、笑いの絶えない一時となりました。



学生寮避難訓練を実施

5月11日(水)朝6時25分から、学生寮防災訓練が実施されました。高志寮4号館2階補食室から出火したとの想定で、学生自ら火災報知機スイッチを押す、大声で火災発生を知らせる、館内放送・119番通報を行うなど、実際の場面に即した訓練となりました。

消防車1台と消防士4名が待機する中、12分ほどで全館の避難が完了し、その後、1年生を中心に、消火器の使用訓練と、女子寮での避難器具(ORIRO)の使用方法の指導を受け、訓練を終了しました。



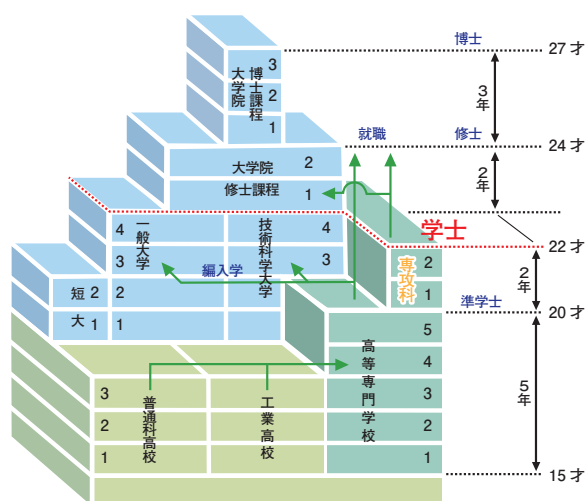
クローズアップ専攻科

■専攻科とは

高専は創設以来の5年間にわたる一貫した実践的技術者教育によって、地域産業の発展に寄与する多くの人材を輩出して、社会の期待に応えてきました。しかし、近年の科学技術の高度化にともない、従来以上に高い技術開発能力とともに、問題発見・解決の出来る研究能力をも兼ね備えた新しい型の実践的技術者が求められています。

高専専攻科は、高専教育の特徴を保持しながら、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力、創造力をもった先端技術に対応出来る実践的技術者の養成を行う、修業年限2年の課程です。

専攻は、「電子機械システム工学専攻」、「物質工学専攻」、「環境都市工学専攻」の3専攻があります。



■専攻科の特色

＜学士号の取得と大学院への進学＞

専攻科に2年以上在学し、大学と同じ62単位以上の単位を取得し修了すると大学院へ進学できます。さらに、独立行政法人「大学評価・学位授与機構」が行う学修成果の審査及び試験に合格すると、学士（工学）の学位が授与されます。これにより、4年制大学の学部卒業と同じ資格になります。

＜少人数で充実した教育・研究＞

少人数によるきめ細やかな講義と特別研究・ゼミナールが行われています。また、各分野に及ぶ研究テーマの中から自らが選択し探求する研究プログラムを用意しており、研究室の指導教員のもとで研究に取り組むことになります。

＜高専学科との継続性を重視した教育＞

高専5年間の教育を基礎として、それとの継続性を重視したカリキュラムを編成しています。将来の研究開発に必要な専門科目と、問題発見・解決できる実践技術者を育成するための実験・研究に多くの時間をかけています。

■学費（参考：平成22年度）

＜学費に関して＞

一般的な国立大学、私立大学の理工学部の授業料を比較すると、国立大学の1/2程度、さらに私立大学の場合には1/3以下となっております。

	専攻科	国立大学	私立大学
入学料	84,600円	282,000円	200,000円
授業料（年額）	234,600円	535,800円	880,000円

（注）国立大学・私立大学の入学料・授業料はあくまでも目安であり各大学・学部によって料金が異なります。

■奨学制度

＜入学料・授業料免除＞

特別な事情または経済的な理由により、入学料及び授業料の納付が困難な場合には、申請により全額または半額が免除されることがあります。

＜奨学金＞

日本学生支援機構による奨学金制度があります。

卒業生からのメッセージ

専攻科の醍醐味は研究！ 2007年卒業 鎌土紀記

皆さんこんにちは。2007年3月に長岡高専専攻科を卒業した鎌土（かまど）と申します。専攻科卒業後、長岡技術科学大学の修士課程を修了、現在は奈良先端科学技術大学の博士課程に所属しています。私の今行っている研究について紹介します。昨今、巷では3Dテレビが流行していますが、同様にリアリティ溢れる音の再生を実現するシステムの基盤技術について研究をしています。これまでに、3DTV上部に設置すると映像と共に音も画面前方に飛び出るスピーカシステムや膨大なデータ量の音源でもCDと大差ないデータ量に圧縮できる高音質圧縮方式、最先端信号処理で再生コンテンツの内部構造を解析しユーザーに音を見せる技術、そしてユーザーがコンテンツ中の好きな音进行操作して自分好みの音を作り出す事のできる技術などを企業と共同研究開発しました。また、特許出願や学会からの受賞などの成果を挙げる事ができました。

これらは全て、専攻科の一番の醍醐味でもある「研究」で、研究に必要な基礎体力を養えたからだと思っています。当時、ご指導頂いた先生方にはこの場を借りて厚く御礼申し上げるとともに、今専攻科で勉強している皆さんへ、エールを送ります！



システム制御研究室の紹介

電子機械システム工学専攻2年 増井 詠一郎

電子制御工学科、システム制御研究室は専攻科生3名、本科生2名が在籍しています。本研究室ではロボットマニピュレータの制御に関する研究や半自律型車両ロボットの開発など、制御工学に関する研究を行っています。制御工学では基本的な数学、物理はもちろん幅広い専門知識が必要とされます。ある意味電子制御工学科で今まで学んできたことの集大成と言えると思います。また、やることが多いので、自主的に計画を立てて進めなければ研究が終わりません。そのため最初はかなり辛く感じます。しかし研究を進めていき、月1回のゼミ発表をこなすにつれて知識面だけでなく、マネジメント面でも実力アップを感じることができます。

研究室内は和気あいあいとしています。専攻科生が多いので授業のわからないところも聞いたり出来ますし、進路が決まった後や、長期休暇の前には打ち上げでご飯を食べにいきます。また研究が終わってからはスノーボードにも行くなど楽しい行事もたくさんあります。「平日しっかり研究して休日はしっかり休もう」がポリシーです。興味のある人、自分を鍛え直したい人は是非5号館2階のシステム制御研究室までどうぞ！



微生物化学研究室の紹介

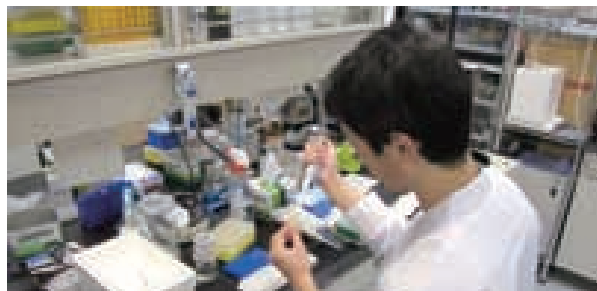
物質工学専攻1年 横山 圭佑

微生物化学研究室には現在、専攻科生が2人、本科生が4人所属しています。本研究室では主に、バイオマスの糖化に関連した研究や抗菌・抗変異原物質の探索をテーマに、各々が熱心に日々の研究に取り組んでおり、定期的に各自の研究の進行状況を報告し合い、これまでの研究結果や今後の進展な

どについて意見交換を行っています。また、他大学とも交流があり、そこで得た情報を研究に役立てていきます。

研究以外では、他の研究室の人たちと一緒に食事に行ったり、空き時間に外で運動するなど研究室の内外を問わず仲は良好で、十分な息抜きにもなります。

興味のある方は、ぜひ見学に来てください。また、夏休み明けに研究室配属を控えている4年生の皆さん、微生物化学研究室と一緒に研究をしましょう！



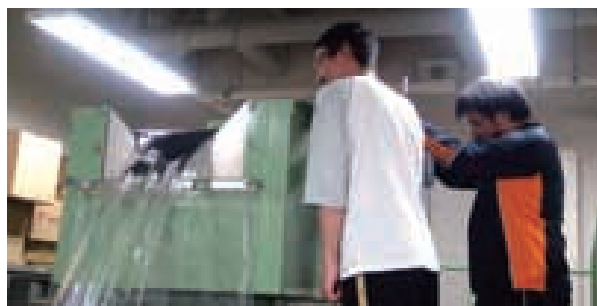
水工研究室の紹介

環境都市工学専攻2年 高井 克圭

水工研究室では、主に密度流について研究しています。本研究室では解析系の研究を行う学生と、実験系の研究を行う学生に分けられます。解析系の研究では、流体の密度差によって生じる密度流という水の流れの解析や洪水時の避難シミュレーションなどを行っています。解析系の研究ではプログラムを書き、それを実行して解析を行います。この作業は大変ですがうまくプログラムが動いたときには達成感を感じることができます。実験系の研究では、対象となる水の流れを発生させ、それを計測しています。

私は、洪水氾濫時の避難経路や避難方法の評価・検討に利用できるツールとして、洪水氾濫における避難行動シミュレーションモデルを開発することを目的とした研究を行っています。現在は、避難時の人の歩行速度が浸水状況によって変化させ、浸水深が一定の値を超えた場合に、ほかの経路を通るようにするようにプログラムを組んでいる最中です。

本研究室は、基本的に進路が決まってから研究を始めるため、他の研究室よりも研究を本格的に開始するのが遅い場合もあります。その分就活や大学受験の勉強に集中することができます。



[2011 年度] 専攻科生の特別研究テーマ一覧

電子機械システム工学専攻

学年	No	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
1年	1	青海 尚登	CES 法による同一面オフセット給電 MSA の小型化	田口裕二郎
1年	2	阿部 駿	冷水循環式雪冷房における冷熱取り出し性能の改善	河田 剛毅
1年	3	淡路 健人	自律車両ロボットの移動制御 - 遠隔操作支援システムの構築 -	佐藤 拓史
1年	4	飯塚 悠気	貯雪の材料力学的強度の評価	河田 剛毅
1年	5	飯濱 浩平	小型船舶の電子制御操舵システムに関する研究	外山 茂浩
1年	6	河合孝太郎	架橋剤添加のフォトポリマーホログラムにおける入射光強度及び空間周波数を変化させた回折効率特性	長部 恵一
1年	7	小池 貴之	M 系列信号を用いた蛍光測定システムの開発	矢野 昌平
1年	8	駒形 隼仁	アクティブ照明を用いた三次元物体計測について	高橋 章
1年	9	全 潤樹	小型送風機の低流量域に発生する騒音に関する研究	吉野 正信
1年	10	野口 隼人	DS/SS 通信の符号ダイバーシティに関する研究	太刀川 信一
1年	11	林 風騎	遠隔臨場感における再現空間の高品質化について	高橋 章
1年	12	樋口 健人	同時蒸着法による CZTS 薄膜の作製	片桐 裕則
1年	13	宮川 祐人	接合部材角部の一般化応力拡大係数の実験的決定	近藤 俊美
1年	14	山田 隼也	雪中含水率計測に基づく MSA スノーセンサを用いた 3 層モデルによる雪崩予測	田口裕二郎
2年	1	稲庭 祥太	異材接合部端点近傍の特異応力解析	近藤 俊美
2年	2	大原 正康	圧電材料を利用した応力緩和に関する基礎的解析と破壊制御実験	佐々 木 徹
2年	3	風間 裕樹	共振～反共振間における圧電素子の大幅増特性	梅田 幹雄
2年	4	久保 涼	定常振動下におけるバイモルフ圧電振動子の電気的出力特性	梅田 幹雄
2年	5	倉品 光	遊星歯車が 4 個の場合のセルフセンタリング機能	吉野 正信
2年	6	小林 雄太	ヒューマノイド型ロボットの高精度歩行シミュレーション	外川 一仁
2年	7	小山 剛	Cu ₂ ZnSnS ₄ 結晶の作製と評価	大石耕一郎
2年	8	近藤 省平	小型船舶用防振架台に対する動吸振器の検討	池田富士雄
2年	9	斎藤 紘	フォトポリマーホログラムの色素量を変化させた記録特性	長部 恵一
2年	10	佐藤 雄一	タングステン細線の尖頭加工	山田 隆一
2年	11	進士 智一	大気開放 CVD 法による p 型光吸収層の開発	片桐 裕則
2年	12	塚田 亮平	頭外音像定位伝達関数導出手法に関する研究	矢野 昌平
2年	13	土田 佳裕	旋回型クレーンの制振荷物搬送に関する研究	佐藤 拓史
2年	14	中澤 勇太	第 3 高調波のパルス紫外レーザーによるポリイミドの微細孔あけ加工	中村 奨
2年	15	西山 智哉	第 4 高調波のパルス紫外レーザーによる微細流路加工	中村 奨
2年	16	野村 昂史	MSA スノーセンサを用いた雪の含水率計測による雪崩予測	田口裕二郎
2年	17	増井詠一郎	フレキシブルアームの制振位置決め精度向上に関する研究	佐藤 拓史
2年	18	松矢 武彦	Ti ₆ Al ₄ V 合金多孔質焼結材の圧縮強度とヤング率の評価	青柳 成俊
2年	19	山口 幸士	CZTS 薄膜太陽電池の開発	片桐 裕則
2年	20	山本 理博	簡易操船シミュレータによる小型船舶の操作性評価	外山 茂浩
2年	21	渡辺 哲平	AM50 マグネシウム合金板材の高温変形組織と強度特性	青柳 成俊

物質工学専攻

学年	No	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
1年	1	久住 拓司	TiO ₂ 微粒子層を有する有機薄膜太陽電池の試作	坂井 俊彦
1年	2	近藤 位旨	プロピオン酸菌の脂質代謝改善機能について	菅原 正義
1年	3	坂牧 康平	樹木のミトコンドリア部分阻害が葉緑体エネルギー散逸過程に与える影響	柴田 勝
1年	4	下村 拓実	ミリング処理過程およびそれらの再結晶過程に伴う結晶構造の変化	岩井 裕
1年	5	横山 圭佑	Lumbricus rubellus に含まれるエンドグルカナーゼのクローニング	赤澤 真一
2年	1	秋山 雄希	アクティブキノンによる葉内エネルギー分配機構の解析	柴田 勝
2年	2	五十嵐佑樹	Lumbricus rubellus に含まれる糖質加水分解酵素群の網羅的解析	赤澤 真一
2年	3	小池 惇平	めっき・硫化法を用いた CZTS 薄膜太陽電池の作製	荒木 秀明
2年	4	佐藤 亮二	食用キノコの香気生成に関与するリボキシゲナーゼの発現解析	田嶋 裕二
2年	5	知野広太郎	インジウムフリー光吸収層材料を用いた薄膜太陽電池の作製	荒木 秀明
2年	6	濁川 雄政	遷移金属錯体存在下でのゼオライトの合成	加藤 正直
2年	7	藤本 康太	Co-edma 錯体存在下でのゼオライトの合成	加藤 正直

環境都市工学専攻

学年	No	氏名	特別研究テーマ	主指導教員
1年	1	赤原 健太	土木構造物の地震時被害推定手法について	井林 康
1年	4	安藤 恭平	加速を伴う傾斜壁面密度流の数値解析	衛藤 俊彦
1年	2	五十嵐彩絵	科学展示施設の配置と利用に関する実態の把握について	宮腰 和弘
1年	3	金塚 智洋	鉄筋腐食に伴い定着不良を生じた RC はり部材のせん断耐荷性状評価	村上 祐貴
1年	4	関 由里絵	嫌気性原生動物の補食作用が嫌気性細菌叢に及ぼす影響	荒木 信夫
1年	5	高橋 竜司	共生培養法を用いた新たな細菌種の探索	荒木 信夫
1年	6	長岡 和真	鉄筋腐食を生じた鉄筋コンクリートの付着性状に関する研究	村上 祐貴
2年	1	阿部 広明	大深度円形立坑における水平方向解析モデルに関する研究	岩波 基
2年	4	大嶋 義章	都市下水を処理する嫌気性反応槽内に生息する原生動物の解析	荒木 信夫
2年	2	齋藤 良一	シールドトンネルの信頼性設計法導入に関する研究	岩波 基
2年	3	下條 雅人	一般座標系を用いた k-ε 乱流モデルによる保存性サマルの流動解析	衛藤 俊彦
2年	4	高井 克圭	マルチエージェントシミュレータを用いた洪水氾濫における避難行動シミュレーションに関する研究	衛藤 俊彦
2年	5	高橋 良太	都市下水を処理する嫌気性反応槽内に生息する原生動物の解析	荒木 信夫
2年	6	中澤 智博	都市部の非開削工法に関する研究	岩波 基
2年	7	西 信衛	液状化による地盤変状に対する防止効果の解析的検討	岩波 基
2年	8	前谷 広太	高感度 FISH によるゲノム上の機能遺伝子の検出	荒木 信夫

安全で安心できる長岡高専をめざして

総務主事 山田隆一

平成 23 年 2 月 14 日の事件を受けて、「安全で安心できる環境と体制づくりワーキンググループ」を立ち上げ、中間報告書「安全で安心できる長岡高専をめざして～安全で安心できる学校環境と教育体制の構築のための提言～」をまとめました。今回のような非常に残念で悲しい事件の再発を防止し、学生・教職員の安全を確保できる環境を整備すること、および学生が安心して教育を受けることのできる体制を構築することを提言の目的としています。その内容をかいつまんで以下に示します。

1. 学生寮を含めた学校環境の改善整備

- 1) 事故・事件や不審者の侵入を防止する施設設備の改善策として、①出入口の改善による敷地内のセキュリティを確保する。②来訪者のための案内図を充実させる。③夜間照明(外灯)の増設と暗い箇所の改善を行う。④各部屋・研究室の鍵の管理を徹底する。
- 2) 事故・事件や不審者を早期に発見できる施設設備などの整備策として、①教職員がネームプレートを着用する。②視認性を確保する。③防犯カメラの設置と記録の保存を行う。
- 3) 事故・事件・災害に対する安全な避難経路の整備策として、①避難経路を定期的に点検する。②季節に応じた複数の避難経路を定期的に確認する。
- 4) 連絡・通信機器の整備策として、①校内・寮内の通報システムを点検する。②緊急連絡網への登録を指導する。③緊急事態発生時における警察・消防への迅速な通信体制の確立を行う。
- 5) 警察到着までの侵入者の暴力に対処する方策として、「さすまた」、「防犯スプレー」を必要な箇所に設置する。
- 6) 安全で安心できる校舎への改修のために、校内・寮内の危険箇所を洗い出すとともに、建物出入口に緊急脱出用のハンマーやワイヤカッター等を用意する。
- 7) 安全で安心できる学校環境づくりのために教職員及び学生へのアンケート調査を実施する。

2. 人間力を育てる教育内容と教育体制の構築

- 1) 教育内容の充実策として、①安全管理面では学生便覧の「安全管理マニュアル」や機構の「実験実習安全必携」に基づく指導の徹底を図る。②人格形成・技術者教育を充実させるために、体系的な教育方法を検討する。各種講演会の年間計画を立てる。企業実習参加率 50% 以上を継続する。学生海外研修をより充実させる。
- 2) 教育体制および教員の能力向上策として、①授業公

開、教職員向け講演会、授業評価アンケート、教員連絡ネットワーク等の FD 活動の改善・強化を図る。②大学・高専間人事交流を活性化する。③教育システムの点検・改善のために、見直しを行った卒業・進級に関する規程の本年度実施、入試ミスの防止および公平な選抜のための入試方法や選抜方法の改善、低学年の学力低下対策として実施した各種施策の効果検証等を実施し、外部評価に耐えうる堅牢な教育システムの構築に取り組む。④情報公開／発信面の強化のために、保護者向け緊急連絡体制の構築、保護者向け授業公開の拡大、1 年生合同保護者会の開催等を実施する。

- 3) 学習環境(生活・教室環境)の整備策として、①清掃支援活動「美シュランガイド」を改善・継続する。②ショートホームルームを完全実施する。
- 4) 学生会活動支援策として、①各種学生会行事に教員を積極的に参加させる。②行事をサポートした学生は皆勤賞対象としない。③1 年生全員にクラブ所属登録をさせる。④クラブの活動結果を HP で積極的に PR する。⑤留守顧問制度を継続する。
- 5) 防災・安全・防犯意識の向上策として、①「安全・安心の日」を設定し、平常時と降雪時の年 2 回の防災訓練を実施する。②交通マナー講習会、AED 講習会の定期的開催を継続する。

3. メンタルケア体制の強化

- 1) 学生相談体制の強化策として、①カウンセラーと学生相談員を増員する。②メンタルヘルス講習会等の各種啓蒙活動を推進する。③メンタル面が弱い学生の情報収集と情報共有を一般教職員も担当する。
- 2) 教職員の連携強化策として、校内に教職員交流のスペースを確保する。
- 3) 担任の負担軽減策として、①副担任制を導入する。②教育経験豊富な中学・高校の退職教員による支援体制の構築を検討する。

4. 危機管理システムの整備

- 1) リスク管理規定の制定に伴い、当該委員会は個別のリスク管理および危機対応マニュアルを早急に整備する。
- 2) 危機対応における学生相談室の役割を規定する。

現時点での中間報告なのでこれで十分とは言えませんが、学生および教職員へのアンケート結果を取り入れて最終報告ではより肌理の細かい提言を行う予定です。そして、提言を確実に実行すべく努力します。

新任教職員紹介



長岡高専に赴任して

環境都市工学科 助教 宮寄 靖大

今年度4月より、環境都市工学科に赴任しました宮寄靖大と申します。どうぞ宜しくお願い致します。前年度までは、大阪大学にて特任研究員をしていました。また、神戸市立工業高等専門学校非常勤講師を併任しておりましたので、高専の教育等に関しては、多少の経験がありました。

大学院在籍時より、多数の高専編入生と関わる機会があり、当初から高専の学生は、優秀でまじめというイメージがありました。高専の教育は、10代半ばから専門技術が修得できることが魅力です。長年経験を積むことで実になる技術力を、非常に柔軟な思考ができる10代半ばから携われるということは素晴らしいと思います。高専での教育は、学生の皆さんにとって、入学当時よりも夢と希望を持てるとともに、社会に出てから即戦力となる技術力の修得が最も重要であると考えます。一方、研究活動については、専門分野に関する最先端の研究に常に目を向けながら、着実な成果が得られ、それによる社会貢献が重要です。

最後に、上述の内容に結びつくよう、日々努力し、実践して参る所存です。



長岡高専に赴任して

環境都市工学科 助教 山本 隆広

本年度4月1日付で本校に赴任しました山本隆広と申します。私は高松高専を卒業した後、長岡技大に進学しました。その後、産総研、国環研において勤務しておりましたが、このたび本校に赴任する機会を得ることができました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで、私は安心・安全で合理的な河川の創造を目標に研究を行ってきました。昨今、我が国の公共事業費は財政再建の名のもとに減少の一途をたどっており、閉塞感を感じている方もいらっしゃるでしょう。ですが、地震で社会基盤施設が被災するたびにその重要性を再認識するとともに、あたりまえだと思われを造り、保守されてこられた先輩技術者の偉大さを感じます。世界に目を転じると、十分な水資源を得ることができず困っている人々が10億人以上いることが指摘されており、人口増加や地球温暖化などによってそういった人々がさらに増えることが懸念されています。

このような問題を解決でき、今後も必要とされる立派な土木技術者を育成するためにこれまでの知見だけでなく、今後も勉学に精進していく所存です。

《総務課長》

山谷 利明

●趣味

スポーツ(野球、羽球、籠球、等)の観戦と実践(若い頃は)？

●抱負

18年ぶりの長岡高専です。もとより微力ではありますが、長岡高専の更なる発展のお役に立てるよう最善を尽くしたいと思います。



《学生課学生支援グループ》

笠井 希予志

●趣味

スポーツ観戦(Jリーグ、プロ野球)、写真

●抱負

新採用で学生課に配属されました。慣れない点多々あると思いますが、長岡高専と学生の皆さんのお役に立てるよう、がんばります。



《教育研究技術支援センター・第3技術グループ》

小林 聖児

●趣味

スポーツ観戦(特に野球)

●抱負

2010年4月より信州大学(学部卒)からきました。社会人になったばかりで学ぶことが多いですが、皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



《教育研究技術支援センター・第2技術グループ》

神保 和夫

●趣味

最近は山菜採りです・・・。

●抱負

長岡高専の電気工学科に入学し、専攻科の第1期修了生として巣立ちました。それから早9年が経ち、この度は縁あって職員としてお世話になります。少しでも恩返しができる様に微力を尽くします。



TOPICS

【高専初】JST CREST に採択

独立行政法人科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業・CRESTの平成22年度(第1期)に、電気電子システム工学科・片桐裕則教授を研究代表者とする研究課題「Next次世代を目指す化合物薄膜太陽電池の高性能化」が新規採択されました。予算規模は5年で2億5千万、JST-CREST採択は高専初の快挙です。平成22年10月から平成28年3月までの予定で、本校と独立行政法人産業技術総合研究所・龍谷大学の3拠点で共同研究が行われます。

留学生歓迎懇談会

平成23年4月27日(水)に、学生食堂にて留学生歓迎懇談会が開催されました。今年度はマレーシア4名、ラオス1名、イラン1名、ベトナム1名の留学生が第3学年に編入し、総勢22名の留学生が在籍しています。



名誉教授授与式

平成23年4月22日(金)に本校校長室において、8年間本校校長を務められた高田孝次先生と、38年間に渡り本校に勤務され教育学術上特に功績のあった小林訓先生(元機械工学科・教授)に対し、長岡高専名誉教授の称号が授与されました。



東日本大震災義援金報告

このたびの震災で被災された高等専門学校及びその関係者の皆様への支援の一助とすることを目的として、本校で取りまとめました義援金200万円を、4月22日付で国立高等専門学校機構に送金致しました。ご賛同ありがとうございました。お預かりした義援金は、高専機構を通じ、被災された学生や教職員、そのご家族の方々への支援として使用させていただく予定です。なお、義援金の取りまとめは、引き続き行っております。

平成23年度科学研究費補助金の採択状況

- 採択件数：10件(内、平成23年度新規採択4件)
- 採択総額：21,450千円
- 採択研究代表者および採択テーマ(平成23年4月1日交付内定分)：

研究代表者			課題名	区分	備考
一般教育科	佐藤 公俊	教授	ビアトリス・ウェブの福祉経済学とフェミニズム	基盤研究(C)	
	松永 茂樹	教授	分子動力学法による固体および液体電解質中におけるイオン間相互作用とダイナミクス	基盤研究(C)	
	大湊 佳宏	准教授	英語授業での表現活動が学習者同士の人間関係に及ぼす影響の研究	基盤研究(C)	
	田中真由美	講師	異文化理解の視点による高等学校英語教科書の批判的分析	若手研究(B)	
電気電子システム工学科	中 村 奨	教授	新規レーザー微細加工技術を利用した液晶ディスプレイ用の機能性拡散シートの開発	基盤研究(C)	新規
電子制御工学科	太刀川信一	教授	符号を使ったダイバーシチ通信方式の特性とハードウェア試作	基盤研究(C)	新規
	外山 茂浩	准教授	小型船舶による救急患者搬送用防振架台の省エネルギー・省スペース化	若手研究(B)	新規
物質工学科	菅原 正義	教授	湿熱処理高アミロース米を用いた糖尿病患者向けの食後血糖値が上がりにくい災害食の開発	基盤研究(C)	新規
	柴 田 勝	准教授	樹木に特異的な温度感応性色素サイクルとオルガネラクロストークによる環境適応機構	基盤研究(C)	
環境都市工学科	荒木 信夫	教授	原生動物の高濃度培養による都市下水処理UASBの安定化および高機能化	基盤研究(B)	